

グローバル5.5倍バランスファンド (1年決算型)／(予想分配金提示型)

愛称:ゴーゴー・バランス(1年決算型)／(予想分配金提示型)

追加型投信／内外／資産複合



※当資料では、世界の株式、REIT、債券および金の4資産への分散投資にあたり、先物取引の活用によって純資産総額の5.5倍相当額の投資を行なう運用手法を「5.5倍バランス(ゴーゴー・バランス)」としています。また、純資産総額の範囲で4資産に分散投資を行なう運用手法を「1倍バランス」としています。

設定・運用は

日興アセットマネジメント

日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

グローバル5.5倍バランスファンド

(1年決算型)／(予想分配金提示型)

愛称:ゴーゴー・バランス(1年決算型)／(予想分配金提示型)

1

世界の株式、REIT、債券および金の4資産への分散投資により、
収益の獲得をめざします。

2

先物取引を積極的に活用し、信託財産の純資産総額の5.5倍
相当額の投資を行ないます。

3

お客様の運用ニーズに応じて、「1年決算型」と「予想分配金提示型」の
2ファンドからお選びいただけます。

■「1年決算型」は、毎年12月21日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。

■「予想分配金提示型」は、毎月21日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。

- 各計算期末の前営業日の基準価額(支払済み分配金(1万口当たり、税引前)累計額は加算しません。)に応じて、原則として、以下の金額の収益分配を行なうことをめざします。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

《「予想分配金提示型」の基準価額に応じて支払われる分配金額の水準》

各計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- 分配金額は、毎決算時に、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合や、基準価額水準、市場動向などによっては、委託会社の判断により上記とは異なる分配金額となる場合や、分配を行なわない場合もあります。
- 基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を行なうというものではありません。
- 分配金が支払われた場合、その金額相当分、基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。
- あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

基準価額変動リスクの大きいファンドですので、ご投資の際には慎重にご判断ください。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

【当資料で使用した指標について】

- 「5.5倍バランス（シミュレーション）」や「1倍バランス（シミュレーション）」などで使用した指標は次の通りです。
世界株式（先物理論価格ベース）：MSCI ACワールド指数（配当込み、為替ヘッジあり、米ドルベース）から米ドルの1ヵ月物金利*を控除したもの、世界REIT（現物）：S&P先進国REIT指数（配当込み、円ベース）、先進国国債（先物理論価格ベース）：FTSE世界国債インデックス（為替ヘッジあり、円ベース）から日本円の1ヵ月物金利**を控除したもの、金（先物）：ブルームバーグ金サブ指標（エクセスリターン***ベース）

* 2023年6月末までは1M USD LIBOR、それ以降は1M SOFR

** 2021年6月末までは1M JPY LIBOR、それ以降はTORF 1M

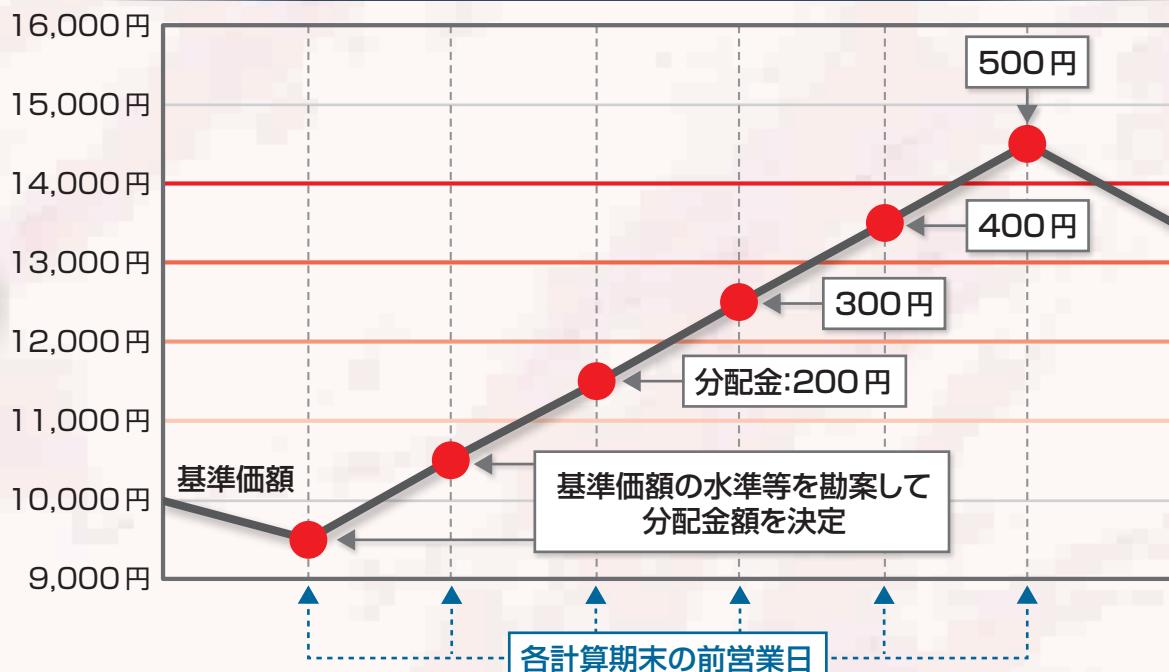
***エクセスリターンとは、先物取引のロールオーバーなどを考慮した指標です。先物取引がオフバランス取引であることや現地の金利が排除されていることなどから、現物資産への投資に為替ヘッジを行なった指標と概ね同じような値動きになります。

- 参考として掲載している各資産で使用した指標は次の通りです。

先進国国債（現物）：FTSE世界国債インデックス（為替ヘッジなし、円ベース）、金（現物）：スポット価格（米ドルベース）を日興アセットマネジメントが円換算

※各指標の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指標の算出元または公表元に帰属します。

「予想分配金提示型」の基準価額と分配金の推移（イメージ）



※上記はイメージであり、実際の基準価額や分配金額を示唆・保証するものではありません。

グローバル5.5倍バランスファンド(1年決算型)／(予想分配金提示型)

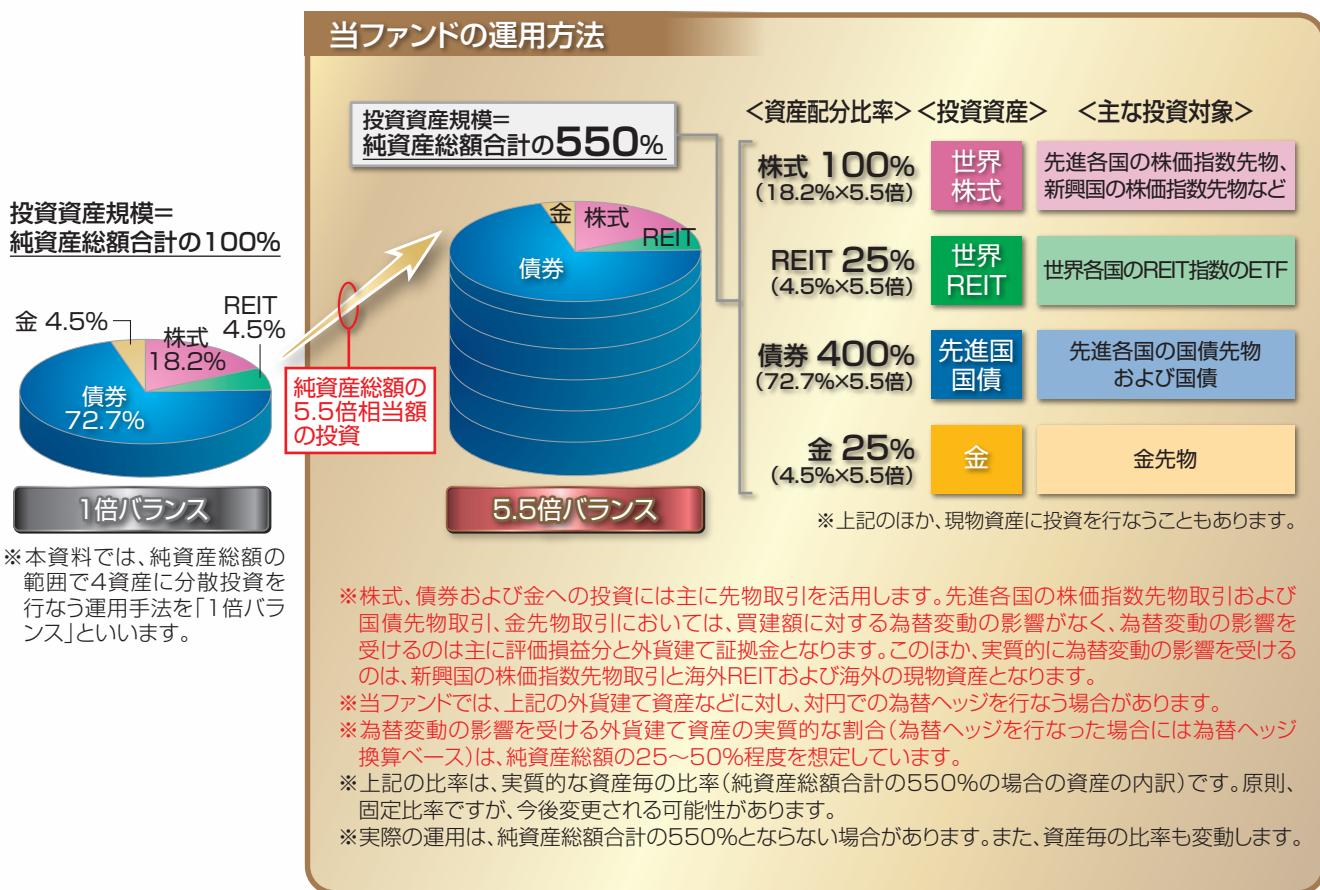
愛称:ゴーゴー・バランス(1年決算型)／(予想分配金提示型)

投資対象資産と実質的な運用について

■当ファンドは、世界の株式、REIT、債券および金の4資産に、幅広く分散投資を行ないます。株式、債券および金への投資において、先物取引を積極的に活用することで、純資産総額の5.5倍相当額の投資を行ないます。

■当ファンドの資産配分比率は、設定時*において過去データの検証に基づき、「株式・REIT」と、「債券・金」のリスクの大きさが概ね同程度となる(釣り合う)ような比率に定めました。

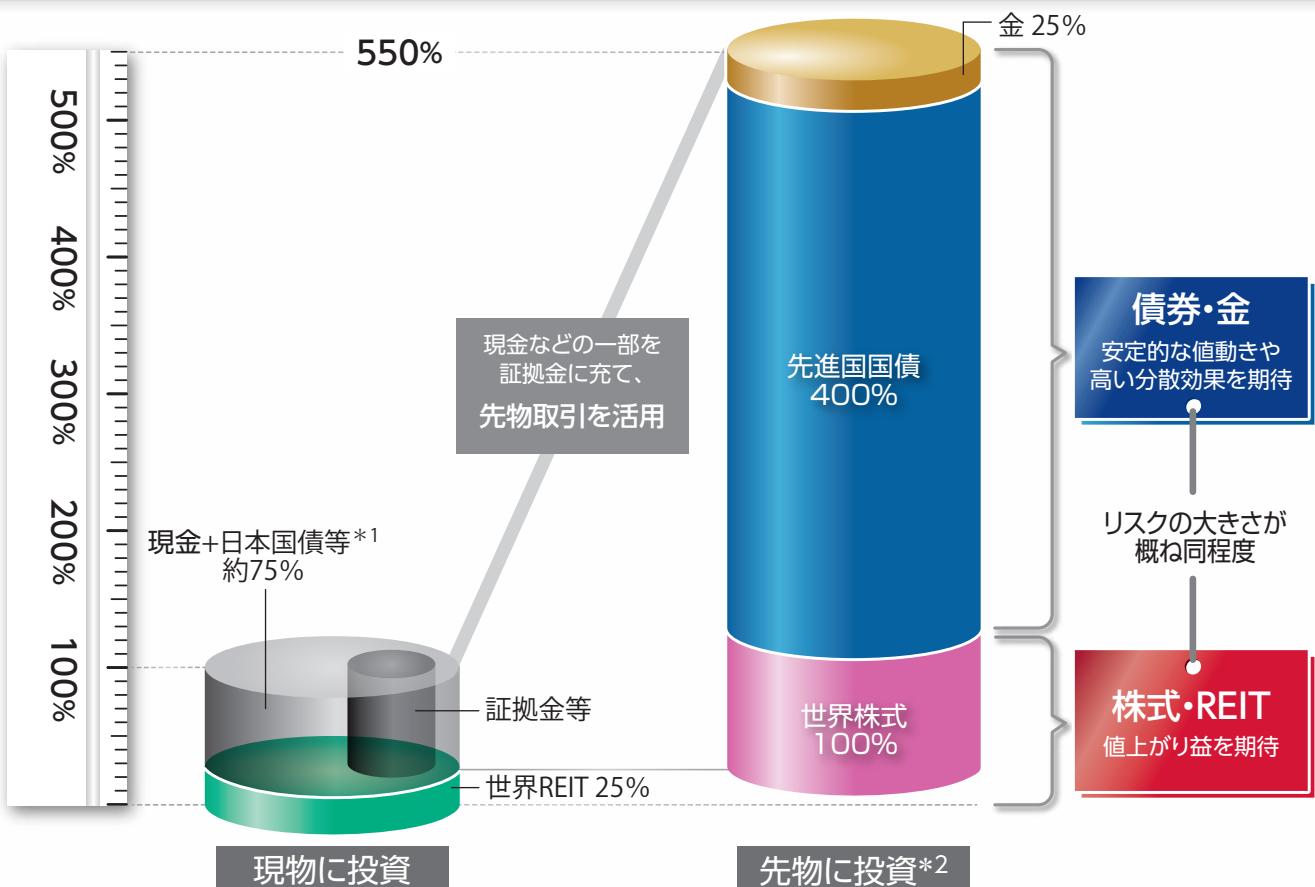
*「グローバル5.5倍バランスファンド(1年決算型)」の設定時(2020年2月12日設定)



※上記はイメージ図です。

※上記の「1倍バランス」の資産配分比率は、「5.5倍バランス」の実質的な資産配分比率を5.5で除して(端数は四捨五入)計算したものであり、実在するポートフォリオではありません。

※上記は資料作成時点のものであり、投資対象資産および資産配分比率は、変更される可能性があります。



*1 日本国債等(現物)は、ファンドの資産構成上は「先進国国債」の400%に含まれます。

*2 一部、現物資産に投資を行なうことがあります。

※上記はイメージ図です。

投資イメージ(例)

資産	比率	資産の内訳	主な投資対象		為替変動の影響	投資資金 100万円の場合
			現物	先物*1		
株式	100%	先進国株式		○	限定的*2	約100万円に相当
		新興国株式		○	あり*3	約25万円に相当
REIT	25%	世界REIT	○(ETF)		あり	約25万円に相当
債券	400%	先進国国債	○*4	○	限定的*2	約400万円に相当
金	25%	金		○	限定的*2	約25万円に相当
投資資産規模の合計	550%					実質的な投資額 約550万円に相当

*1 上記のほか、現物資産に投資を行なうこともあります。

*2 外貨建てで決済される先物においては、評価損益分や外貨建て証拠金に為替変動の影響があります。詳しくは5~6ページをご参照ください。

*3 当ファンドが新興国株式への投資に際して用いる新興国の株価指数先物取引(米ドル建て)には、構成各国の通貨で算出される株価を米ドル換算することに伴ない、為替変動リスクがあります。

*4 現物国債への投資にあたっては、主として日本国債に投資を行なうほか、海外国債に投資する場合には対円での為替ヘッジを活用するなど、為替変動リスクが限定的となるような対応を行ないます。

※上記の比率は、実質的な資産毎の比率(純資産総額合計の550%の場合の資産の内訳)です。原則、固定比率ですが、今後変更される可能性があります。

※実際の運用は、純資産総額合計の550%とならない場合があります。また、資産毎の比率も変動します。

※上記の投資イメージ(例)は、100万円の投資資金に対して、550万円相当額(投資資金の5.5倍相当額)の運用が行なわれることを示すものであり、投資資金(元金)が実際に550万円に増えることを示すものではありません。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

グローバル5.5倍バランスファンド(1年決算型)／(予想分配金提示型)

愛称:ゴーゴー・バランス(1年決算型)／(予想分配金提示型)

先物取引の積極活用でめざす2つのメリット

- 先物取引を用いることにより、当ファンドでは「レバレッジ(てこ)効果」と「為替変動リスクが限定的」という2つのメリットの実現をめざしています。

以下では、100万米ドル相当の米国債への投資を想定した上で、これらのメリットについて説明します。

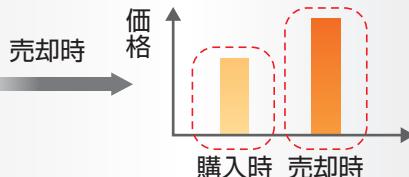
100万米ドル相当の米国債への投資を想定

通常の米国債取引の場合(現物取引)



購入時
100万米ドルを投資

現物: 100万米ドル



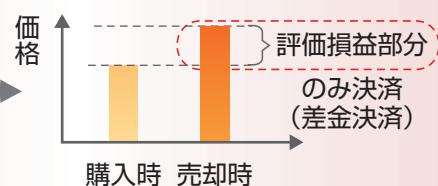
日本から円で投資する場合に、為替の影響を受ける部分:()で囲んだ、購入代金および売却代金

先物による米国債取引の場合



購入時
100万米ドルに一定比率*
を掛けた金額を
証拠金として差入れ

先物: 100万米ドル



*資産や投資規模などによって異なりますが、通常は数%程度です。

証拠金: 数万米ドル = 100万米ドル × 数%

日本から円で投資する場合に、為替の影響を受ける部分:()で囲んだ、証拠金および評価損益(差金決済)部分

※上記はイメージ図です。



先物取引とは

- 先物取引とは、「本来であれば将来に行なわれる取引について、今の時点で原資産(取引の元になる株式、債券、商品など)の価格を約束する取引」です。
- 将来の受け渡し時点の価格を事前に確定できることで、将来の価格変動リスクをヘッジ(回避)することが可能になります。
- 先物取引は、株式、債券、商品など様々な資産で行なわれます。当ファンドで用いる先物は、取引所に上場されており、幅広い投資家が取引する流動性が高いものを対象とします。
- 先物取引は、他のデリバティブ取引と同様に、証拠金制度を採用しており、少ない金額で大きな額の取引(レバレッジ取引)を行なうことができます。また、ポジションに対して数%の証拠金を差し入れるのみで取引ができます。ただし、必要な証拠金の額は、取引所や種別などによって異なることに加え、定期的に見直されます。

レバレッジ(てこ)効果

先物取引を用い、比較的少ない資金で大きな資産に実質的に投資することを、小さな力で大きな効果を得る「てこ」になぞらえ、レバレッジ効果と呼びます。

5ページの現物取引の例では、100万米ドル全額を投じる必要があるのに対し、先物取引の場合、証拠金として数万米ドルを差し入れるだけで実質的に100万米ドル相当の国債先物を取得することができます。

為替変動リスクが限定的*

5ページの例において、日本から円で投資する場合、現物取引では、米国債の購入・売却の両時点で両替することになるため、投資金額全体に為替変動リスクが及ぶことになります。

一方、先物取引の場合は差金決済となるため、為替変動リスクが及ぶのは、証拠金の数万米ドル部分と評価損益(差金決済)部分に限定されます。

*ただし、当ファンドが新興国株式への投資に際して用いる新興国の株価指数先物取引(米ドル建て)には、構成各国の通貨で算出される株価を米ドル換算することに伴ない、為替変動リスクがあります。

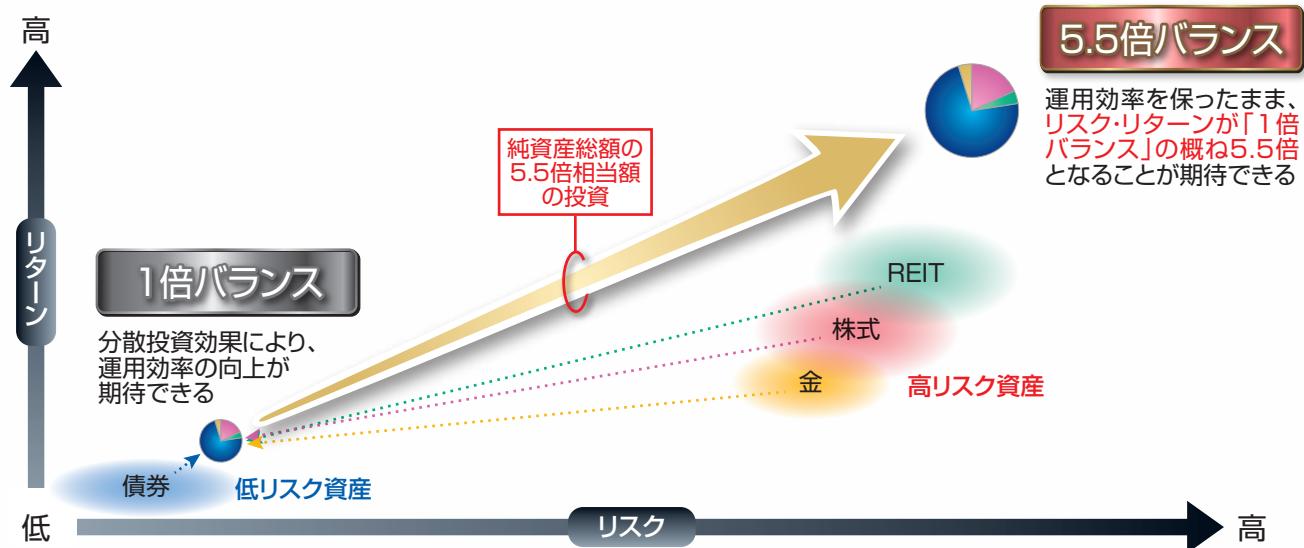
グローバル5.5倍バランスファンド(1年決算型)／(予想分配金提示型)

愛称:ゴーゴー・バランス(1年決算型)／(予想分配金提示型)

「5.5倍バランス」のリスク・リターンのイメージ

- 一般に、値動きの異なる複数の資産に分散投資を行なうことで、運用効率(リスクあたりのリターン)が向上し、価格変動リスクの低減とリターンの安定化が期待できます。さらに、当ファンドでは、運用効率を保ったまま、リスク・リターンの引き上げをめざし、先物取引などを活用して純資産総額の5.5倍相当額の投資を行ないます。

各資産のリスク・リターンのイメージ



※上記は「5.5倍バランス」についてのご理解を深めていただくためのイメージであり、実際のリスク・リターンなどの運用成果を保証するものではありません。

※実際の累積パフォーマンスが5.5倍になる訳ではありません。

各資産の相関係数

- 一般に、リスク性資産である株式やREITが売られるリスクオフ(回避)局面では、低リスク資産である債券や有事に強いとされる金が買われる傾向があります。ただし、そうした局面では、同じく低リスク資産とされる「円」も買われることが多く、日本から海外国債や金に投資した場合、円高によって価格の上昇が相殺されるケースが少なくありません。
- しかし、日本から海外の国債先物や金先物に投資する場合、先物取引の仕組みにより為替変動リスクが限定され、現地通貨ベースでの値動きに、より近くなります。そのため、リスク性資産に対する相関は低くなり、高い分散投資効果を期待できます。

※海外の先物取引に投資を行なう場合、為替変動の影響が限定的であることから、為替が円安となる局面での為替差益も限定的となります。

■ 各資産の相関 (期間: 2003年3月末～2023年12月末、月次)

	世界株式 (先物理論 価格ベース)	世界REIT (現物)	先進国国債 (先物理論 価格ベース)	金 (先物)
世界株式(先物理論価格ベース)	1.00			
世界REIT(現物)	0.80	1.00		
先進国国債(先物理論価格ベース)	0.01	0.01	1.00	
金(先物)	0.09	▲0.00	0.25	1.00

↑

先物取引の場合:
国債や金は為替変動リスクが限定され、リスク性資産(株式・REIT)に対する相関が低くなる

■ ご参考:国債・金(現物、為替ヘッジなし)との相関 (期間: 2003年3月末～2023年12月末、月次)

	世界株式 (先物理論 価格ベース)	世界REIT (現物)	先進国国債 (先物理論 価格ベース)	金 (先物)
先進国国債(現物)	0.41	0.57	0.10	▲0.06
金(現物)	0.17	0.21	0.01	0.84

↑

現物資産(為替ヘッジなし)への投資の場合:
為替変動の影響を受けるため、リスク性資産に対する相関係数は一定以上のプラスに



相関係数とは

相関係数は、2種類の資産間の値動きの連動性を示す指標です。「マイナス1～プラス1」の間で表示され、1に近いほど同じような値動き、0に近いほど値動きに関係がない、マイナス1に近いほど逆方向の値動き(逆相関)となったことを示しています。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※先物理論価格ベースとは、各資産への投資に際して先物取引を用いると仮定した場合のリターンを示すために、日興アセットマネジメントが各資産の為替ヘッジ指数を用いるなどして算出したものであり、実在するものではありません。

※上記で使用した指標は、2ページの「当資料で使用した指標について」をご参照ください。なお、使用した指標は、当ファンドのベンチマークではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

分散投資やレバレッジの効果に加えて、 パフォーマンスを向上させる仕組み

リバランスタイミング(資産配分比率の調整)効果

■当ファンドの資産配分比率は、設定時*において過去データの検証に基づき、「株式・REIT」と「債券・金」のリスクの大きさが概ね同程度となる(釣り合う)ような比率に定めています。よって、必要に応じてリバランスタイミングをすることで、特定の資産の価格変動の影響を受けにくくなる効果が期待されます。

*「グローバル5.5倍バランスファンド(1年決算型)」の設定時(2020年2月12日設定)



リバランスタイミングとは

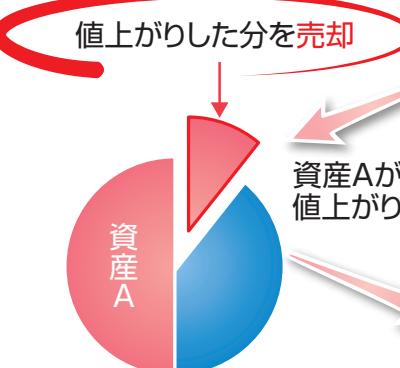
- リバランスタイミングとは、値動きによって資産配分比率が変化した場合に、資産を購入・売却(解約)することで元の資産配分比率に戻すことです。

リバランスタイミング

時価の値上がりによって
資産配分比率が上昇した資産Aを、
その分、売却(解約)する

元の資産配分比率

50%:50%



リバランスタイミング

時価の値下がりによって
資産配分比率が低下した資産Bを、
その分、購入する



リバランスタイミング後

50%:50%

※上記は例を用いたイメージです。

ゴーゴー・バランス とは

「ゴーゴー・バランス」は、先物取引の活用による
投資規模の「5.5倍化」と、「高い分散投資効果」、
および「リバランス効果」によって、
資産形成の柱となり得る「増やすための分散」
をめざすバランスファンドです。

世界REIT(為替ヘッジなし)などと
同程度のリスクを取りつつ、
比較的高いリターンの獲得をめざすことで、
中長期の資産運用にご活用いただけると考えています。

※リスクとリターンの詳細については、13ページをご参照ください。

基準価額変動リスクの大きいファンドですので、ご投資の際には慎重にご判断ください。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

下記は過去のものおよびシミュレーションの結果

各資産とシミュレーションのリターン(累積)推移

期間:2003年3月末～2019年11月末(月次)

3,000

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

2003年3月

2006年3月

2009年3月

2012年3月

各資産とシミュレーションの年間騰落率

期間:2003年～2019年*

2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
5.5倍バランス (シミュレーション) 43.4%	5.5倍バランス (シミュレーション) 31.9%	5.5倍バランス (シミュレーション) 32.1%	世界REIT 40.4%	金 24.2%	先進国国債 5.3%	5.5倍バランス (シミュレーション) 46.7%	5.5倍バランス (シミュレーション) 34.0%	5.5倍バランス (シミュレーション) 15.4%	5.5倍バランス (シミュレーション) 47.9%
世界株式 32.0%	世界REIT 27.9%	世界REIT 27.1%	5.5倍バランス (シミュレーション) 16.9%	5.5倍バランス (シミュレーション) 4.3%	金 2.4%	世界REIT 37.1%	金 28.5%	金 9.6%	世界REIT 38.8%
世界REIT 22.6%	世界株式 9.5%	金 13.8%	金 16.0%	世界株式 2.5%	1倍バランス (シミュレーション) -7.8%	世界株式 29.1%	世界株式 10.4%	先進国国債 4.9%	世界株式 15.3%
金 22.4%	1倍バランス (シミュレーション) 5.4%	世界株式 13.3%	世界株式 12.0%	1倍バランス (シミュレーション) 0.9%	5.5倍バランス (シミュレーション) -40.0%	金 22.7%	世界REIT 7.4%	1倍バランス (シミュレーション) 2.9%	1倍バランス (シミュレーション) 7.6%
1倍バランス (シミュレーション) 7.1%	金 3.4%	1倍バランス (シミュレーション) 5.4%	1倍バランス (シミュレーション) 3.0%	先進国国債 -0.0%	世界株式 -41.1%	1倍バランス (シミュレーション) 8.1%	1倍バランス (シミュレーション) 5.8%	世界REIT -3.4%	金 6.0%
先進国国債 -0.3%	先進国国債 3.2%	先進国国債 1.6%	先進国国債 -2.0%	世界REIT -16.8%	世界REIT -55.5%	先進国国債 0.2%	先進国国債 2.7%	世界株式 -6.9%	先進国国債 3.9%

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

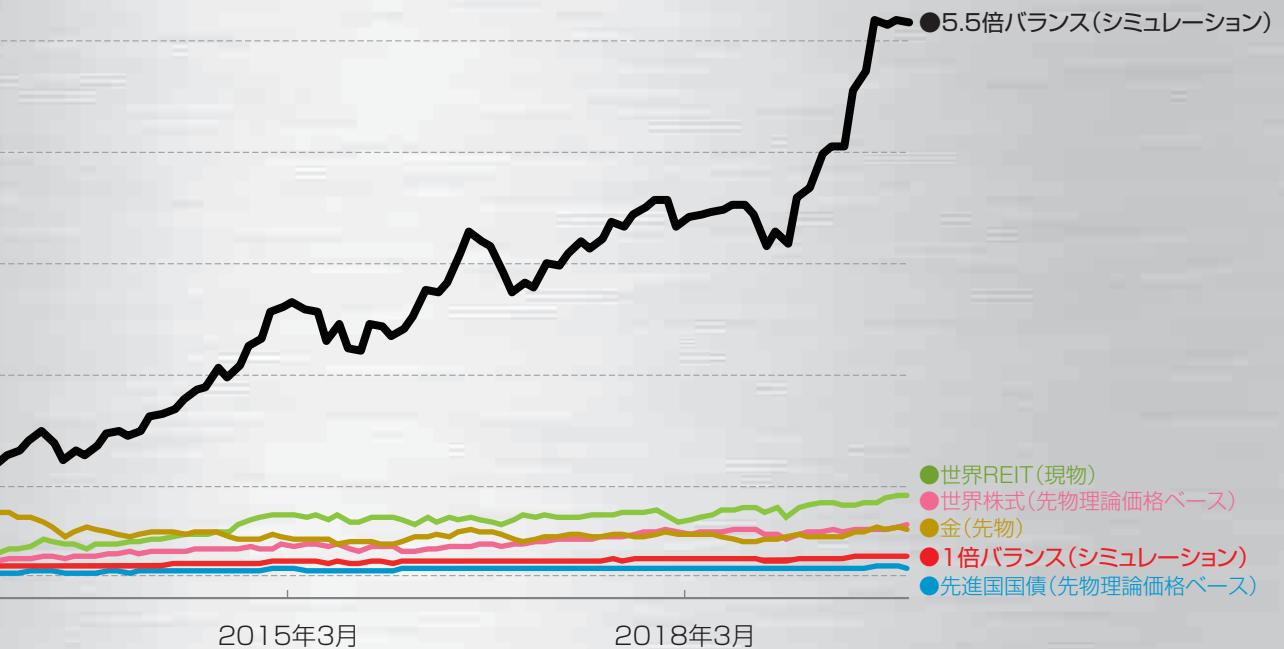
※先物理論価格ベースとは、各資産への投資に際して先物取引を用いると仮定した場合のリターンを示すために、日興アセットマネジメントが各資産

※世界株式および先進国国債は先物理論価格ベース、金は先物

※上記で使用した指標は、2ページの「当資料で使用した指標について」をご参照ください。なお、使用した指標は当ファンドのベンチマークではあり

(シミュレーション)の長期推移

であり、当ファンドの運用実績ではありません。



ご留意
事項

*2003年は3月末から、2019年は11月末までの騰落率です。

2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
世界REIT 25.4%	5.5倍バランス (シミュレーション) 59.2%	世界REIT 1.6%	5.5倍バランス (シミュレーション) 20.9%	5.5倍バランス (シミュレーション) 26.0%	先進国国債 0.1%	5.5倍バランス (シミュレーション) 61.8%
世界株式 24.7%	世界REIT 40.7%	世界株式 0.7%	世界株式 8.6%	世界株式 18.9%	1倍バランス (シミュレーション) -1.9%	世界REIT 24.7%
5.5倍バランス (シミュレーション) 19.7%	1倍バランス (シミュレーション) 9.1%	先進国国債 0.7%	金 7.4%	金 11.7%	金 -4.7%	世界株式 21.2%
1倍バランス (シミュレーション) 3.7%	世界株式 8.7%	1倍バランス (シミュレーション) 0.4%	1倍バランス (シミュレーション) 3.8%	世界REIT 4.7%	世界REIT -6.7%	金 11.7%
先進国国債 -0.2%	先進国国債 8.0%	5.5倍バランス (シミュレーション) 0.3%	世界REIT 3.6%	1倍バランス (シミュレーション) 4.4%	世界株式 -8.9%	1倍バランス (シミュレーション) 9.5%
金 -28.7%	金 -1.8%	金 -10.9%	先進国国債 2.1%	先進国国債 0.6%	5.5倍バランス (シミュレーション) -10.8%	先進国国債 5.6%

左記の5.5倍バランスは、投資者の皆様に当ファンドの運用についてご理解いただくために、当ファンドが投資する各市場の代表的な指數を当資料作成時点の資産配分比率で合成し、現金部分に対する日本円の1ヶ月物金利を加味し、月次リバランスマーチをした結果であり、実在するポートフォリオの推移ではありません。また、左記の1倍バランスは、5.5倍バランスのシミュレーションと同指數を用いて、5.5倍バランスの各資産配分比率を5.5で除した比率で合成し、月次リバランスマーチをした結果であり、実在するポートフォリオの値ではありません。

左記は過去のものおよびシミュレーションの結果であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。当ファンドの実際の運用においては、売買コストや信託報酬、運用資産の規模、設定解約に伴う資金流出入、実際に行なうリバランスマーチのタイミングなどによる影響が生じます。そのため、当ファンドの運用成果が、左記シミュレーションと同様になることを約束するものではありません。

の為替ヘッジ指數を用いるなどして算出したものであり、実在するものではありません。

ません。

ご参考

5.5倍バランス(シミュレーション)のリスクとリターンの水準および最大ドローダウン

下記は過去のものおよびシミュレーションの結果であり、当ファンドの運用実績ではありません。

5.5倍バランス(シミュレーション)のリターンは、世界REIT(為替ヘッジなし)や世界株式をも上回る、高水準となりました。

一方で、5.5倍バランス(シミュレーション)のリスクも、一般的なバランスファンド(例えば、1倍バランス)を大きく上回り、為替ヘッジなしの世界REIT*と同程度の20%と、高水準です。つまり、日々の値動きが大きくなり、短期的に大きく下落する可能性もあることにご留意いただく必要があります。

*下表の世界REIT(現物)

各資産とシミュレーションのリスクとリターン

期間:2003年3月末～2019年11月末(月次)

	5.5倍バランス (シミュレーション)	1倍バランス (シミュレーション)	世界株式 (先物理論価格ベース)	世界REIT (現物)	先進国国債 (先物理論価格ベース)	金 (先物)
リスク (年率)	20.0%	3.6%	12.8%	20.4%	3.0%	17.3%
リターン (年率)	21.7%	3.9%	8.0%	11.4%	2.2%	8.3%

5.5倍バランスのリスクは
“世界REIT(為替ヘッジなし)”
と同程度

※上表においては、リスクは月次リターンの標準偏差を、リターンは月次リターンの平均を、それぞれ年率換算しています。

5.5倍バランス(シミュレーション)の最大下落率(最大ドローダウン)は、複利効果がより大きく働いたことなどから、1倍バランス(シミュレーション)の5.5倍とはなりませんでした。

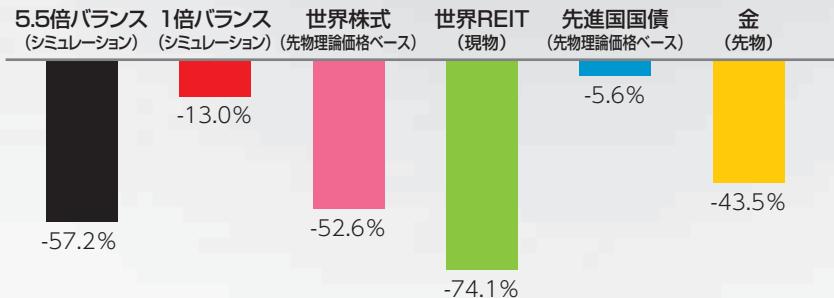
各資産とシミュレーションの最大下落率(最大ドローダウン)

期間:2003年3月末～2019年11月末(月次)



最大ドローダウンとは?

高値から最も下落した期間の下落率
(最も悪いタイミングで投資を行なった場合の下落率)を指します。



各資産の最大ドローダウンの期間(時点はいずれも月末)

2007年10月 2007年10月 2007年10月 2007年5月 2005年6月 2011年8月

▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼

2009年2月 2009年2月 2009年2月 2009年2月 2007年6月 2015年12月

ご留意
事項

上記の5.5倍バランスは、投資者の皆様に当ファンドの運用についてご理解いただくために、当ファンドが投資する各市場の代表的な指数を当フォリオの値ではありません。また、上記の1倍バランスは、5.5倍バランスのシミュレーションと同指数を用いて、5.5倍バランスの各資産比シミュレーションの結果であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。当ファンドの実際の運用においては、売買コストや信託の運用成果が、上記シミュレーションと同様になることを約束するものではありません。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

*先物理論価格ベースとは、各資産への投資に際して先物取引を用いると仮定した場合のリターンを示すために、日興アセットマネジメント
※上記で使用した指数は、2ページの「当資料で使用した指数について」をご参照ください。なお、使用した指数は当ファンドのベンチマーク

世界的な金融危機局面での騰落率

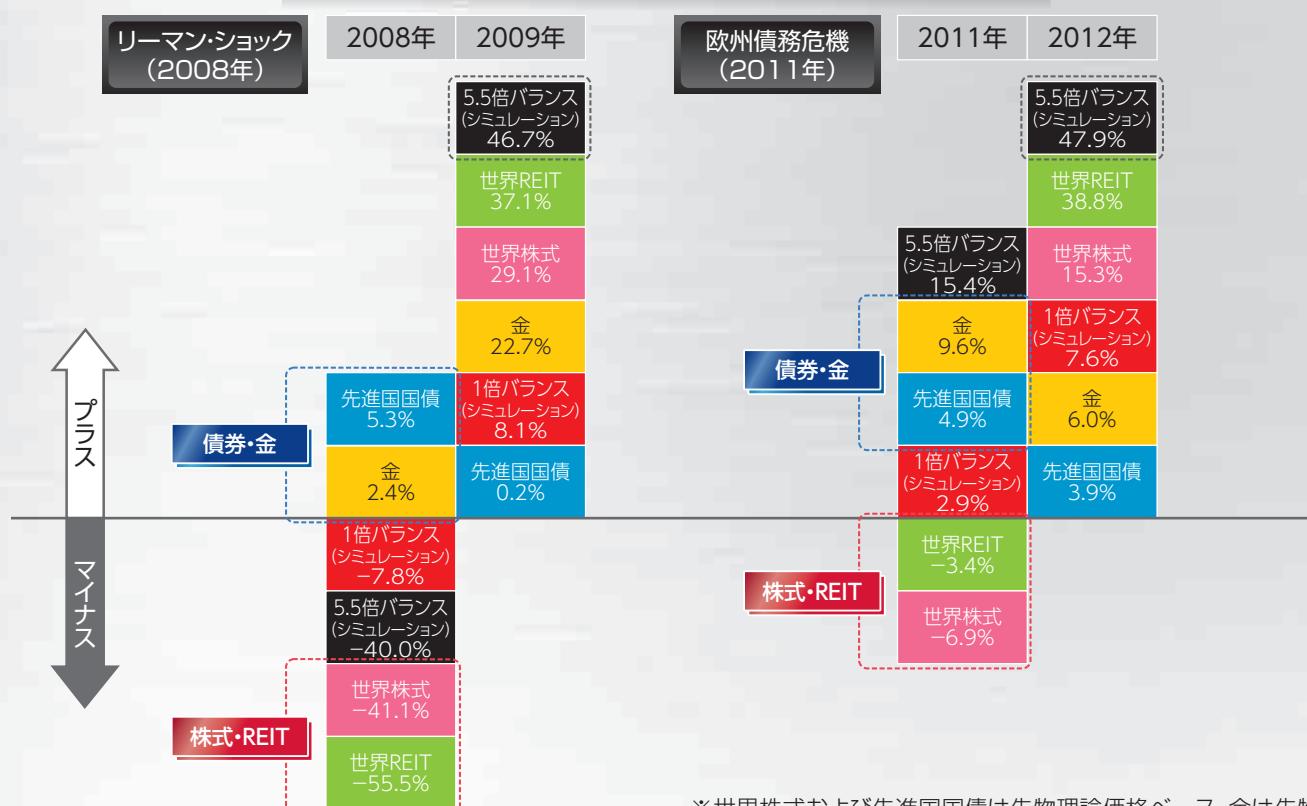
下記は過去のものおよびシミュレーションの結果であり、当ファンドの運用実績ではありません。

日本の投資家にとっては、リスクオフ(回避)時に海外国債や金のリターンが円高で打ち消されてしまうことが悩みでした。しかし、当ファンドは国債先物や金先物を活用することから為替変動の影響が限定的であり、円高局面でも海外国債や金のリターンを享受することが期待されます。

過去の金融危機局面では、高い分散効果とその後のリバランス効果を發揮

- 過去の金融危機局面(2008年、2011年)では、為替が大きく円高に振れた中でも、「債券・金」は、「株式・REIT」に対して逆相関(値動きが逆)となり、プラスとなりました。
- また、「5.5倍バランス(シミュレーション)」は、危機時に大きく値下がりした「株式・REIT」をリバランスによって買い増したこと、翌年(2009年、2012年)にはそれらの資産が急反発した恩恵を享受した結果となりました。

各資産とシミュレーションの年間騰落率



「投信ならでは」の仕組み

世界的な株式・REIT安と円高が同時進行するような難局において、リスク資産に積極的に投資することは極めて困難です。しかし、当ファンドのように、先物を積極活用し、かつ、「下落した資産を買い、上昇した資産を売る」というリバランスを行なう「仕組み」を有していれば、危機時の円高に伴なう影響を抑えるだけでなく、危機後の市場反転という大きな投資機会を捉えることが可能です。

※実際の運用においては、純資産総額の増減により、上記と異なるリバランスを行なう場合があります。

資料作成時点の資産配分比率で合成、現金部分に対する日本円の1ヵ月物金利を加味し、月次リバランスをした結果であり、実在するポート率を5.5で除した比率で合成し、月次リバランスをした結果であり、実在するポートフォリオの値ではありません。上記は過去のものおよび報酬、運用資産の規模、設定解約に伴なう資金流出入、実際に行なうリバランスのタイミングなどによる影響が生じます。そのため、当ファンド

が各資産の為替ヘッジ指数を用いるなどして算出したものであり、実在するものではありません。
ではありません。

グローバル5.5倍バランスファンド(1年決算型)／(予想分配金提示型)

愛称:ゴーゴー・バランス(1年決算型)／(予想分配金提示型)

「1年決算型」の基準価額と純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

「1年決算型」の資産構成比 (2023年12月末時点)

■資産構成比

世界株式	98.6%
世界REIT	24.3%
先進国国債	393.3%
金	24.3%
合計	540.4%
現金その他	49.6%

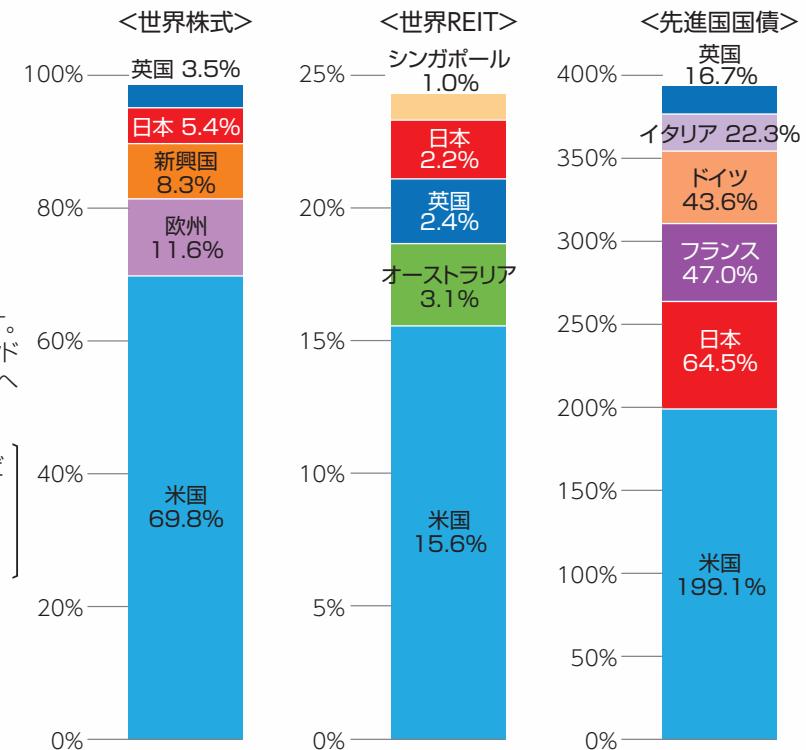
※比率は当ファンドの純資産総額比です。

※先物取引にかかる証拠金は「現金その他」に含まれます。

※当ファンドはグローバル5.5倍バランス・マザーファンドの受益証券を通じて、主な投資対象ごとに次の資産へ投資を行ないます。

〔 世界株式 :世界の株価指数先物取引に係る権利など
世界REIT :世界の不動産投資信託など
先進国国債:世界の国債先物取引に係る権利など
金 :世界の金先物取引に係る権利など 〕

■資産ごとの国・地域別構成比



※上記は記載の時点における資産構成比です。以後の数値についてはマンスリーレポートをご覧ください。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

「予想分配金提示型」の基準価額と純資産総額の推移



**基準価額
(税引前分配金再投資ベース)
6,085円**

**基準価額
(税引前分配金控除後)
5,748円**

**純資産総額
18.8億円**

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※税引前分配金再投資ベースとは、分配金(税引前)を再投資したものとして算出した理論上のものである点にご留意ください。

※分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

【分配金の実績(税引前、1万口当たり)】

2021年 7～12月	2022年1月 ～2023年12月	直近1年間 累計	設定來 累計
100円/月	0円/月	0円	600円

「予想分配金提示型」の資産構成比 (2023年12月末時点)

■資産構成比

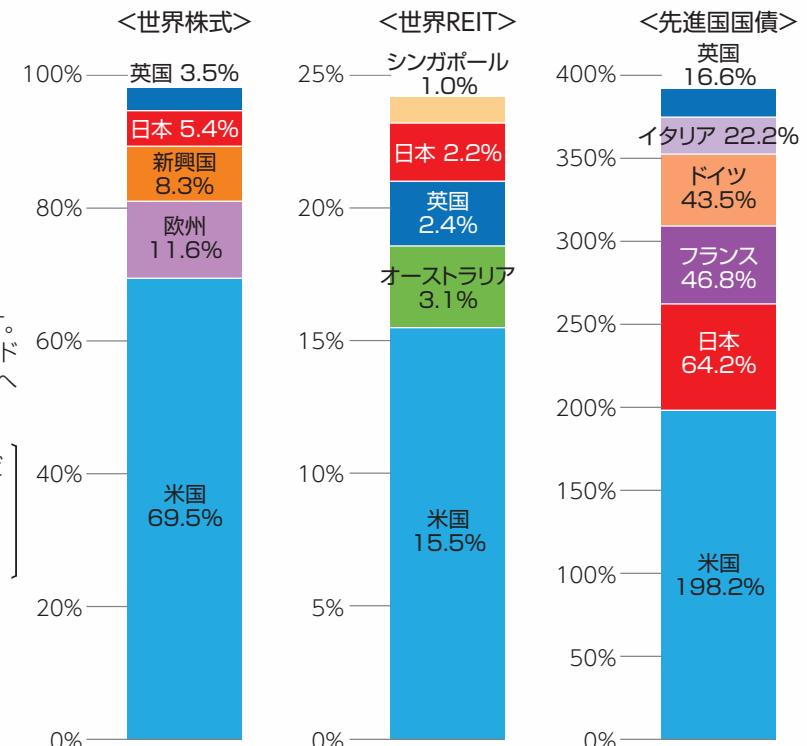
世界株式	98.1%
世界REIT	24.2%
先進国国債	391.5%
金	24.2%
合計	538.0%
現金その他	49.8%

※比率は当ファンドの純資産総額比です。

※先物取引にかかる証拠金は「現金その他」に含まれます。
※当ファンドはグローバル5.5倍バランス・マザーファンド
受益証券を通じて、主な投資対象ごとに次の資産へ
投資を行ないます。

[世界株式 :世界の株価指数先物取引に係る権利など
世界REIT :世界の不動産投資信託など
先進国国債:世界の国債先物取引に係る権利など
金 :世界の金先物取引に係る権利など]

■資産ごとの国・地域別構成比



※上記は記載の時点における資産構成比です。以後の数値についてはマンスリーレポートをご覧ください。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われるごとに、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

*右記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

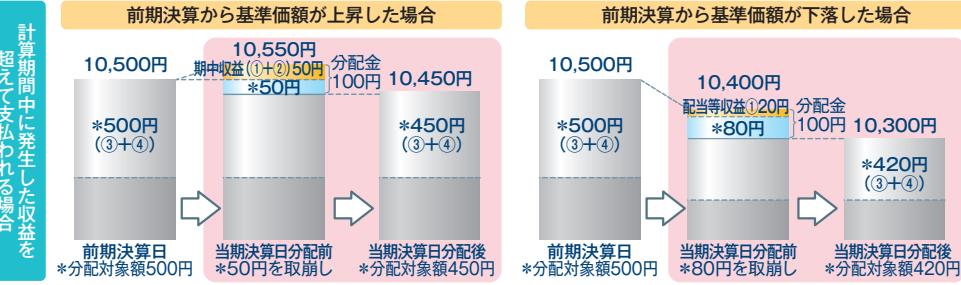
分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合

普通分配金	元本払戻金(特別分配金)
投資者の 購入価額 (当初個別元本)	分配金支払後 基準価額 個別元本
	元本払戻金(特別分配金)

元本払戻金(特別分配金)

- ※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。
- ・普通分配金:個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配です。
- ・元本払戻金(特別分配金):個別元本を下回る部分からの分配です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。



お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券、上場投資信託証券および株価指数先物取引・国債先物取引・金先物取引にかかる権利を実質的な投資対象としますので、債券、上場投資信託証券および株価指数先物取引・国債先物取引・金先物取引にかかる権利の価格の下落や、債券および不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産および金地金の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
- ・上場投資信託証券の価格は、連動目標とする資産価格および当該資産が関係する市況や市況の変化などの要因により変動します。上記事項に関する変動があった場合、ファンドに損失が生じるリスクがあります。不動産投信へ投資を行なう上場投資信託証券の価格については、不動産を取り巻く環境や規制、賃料水準、稼働率、不動産市況や長短の金利動向、マクロ経済の変化など様々な要因により価格が変動します。
- ・株価指数先物取引・国債先物取引および金先物取引にかかる権利の価格は、投資対象となる原資産の値動きや先物市場の需給および金利の動きなどの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、当該先物取引にかかる権利の値動きに予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券および先物取引にかかる権利などの取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】

- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様に「グローバル5.5倍バランスファンド(1年決算型)／(予想分配金提示型)愛称:ゴーゴーバランス(1年決算型)／(予想分配金提示型)」への理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	<1年決算型> 2029年12月21日まで(2020年2月12日設定) <予想分配金提示型> 2029年12月21日まで(2021年6月23日設定)
決算日	<1年決算型> 毎年12月21日(休業日の場合は翌営業日) <予想分配金提示型> 毎月21日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日が下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ニューヨーク商品取引所の休業日 ・シカゴ商品取引所の休業日 ・英国証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ユーレックスにおけるすべてのデリバティブ取引に共通の休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 ※各ファンドはNISAの対象ではありません。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.3%(税抜3%)以内 ※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 《ご参考》 (金額指定で購入する場合) 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいたたきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。 ※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 (口数指定で購入する場合) 例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.3%(税込)で、100万口で購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額=(10,000円／1万口)×100万口=100万円、購入時手数料=購入金額(100万円)×3.3%(税込)=33,000円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万3,000円をお支払いいただくことになります。 ※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.089%(税抜0.99%) ※この他に、投資対象とする上場投資信託証券には運用などに係る費用がかかりますが、投資する上場投資信託証券の銘柄は固定されていないため、事前に料率、上限額などを表示することができません。
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用、運用において利用する指数の標準使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

取扱ファンド		金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
1年 決算型	予想 分配金 提示型			日本証券業 協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
○		株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○		
○	○	株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
○	○	auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○
○	○	株式会社SBJ証券 ※右の他に一般社団法人日本STO 協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○
○	○	株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○
○		岡三証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本暗号 資産取引業協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○
○		おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第19号	○		
○		ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○		
○		株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○		
○		株式会社大光銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第61号	○		
○		第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○		
○	○	中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○		
○	○	株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○
○		株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○		
○	○	株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○		
○		株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第63号	○		
○		ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○		
○		株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○		○
○		広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第44号	○		
○		フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○	
○	○	PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○
○	○	北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号	○		
○		株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○		○
○	○	松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○
○	○	マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
○		株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○		
○	○	楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

(50音順、2024年1月23日現在)